

再開発事業の取り組み状況をご報告いたします

寝屋川市駅東地区

施行予定者：寝屋川市駅東地区再開発会社

面積：約1.5ヘクタール

施設建設：大阪電気通信大学（地上7階）

文化ホール（地上3階、地下1階）

客席約300席

住宅（地上8階、地下1階）

住宅戸数28戸

立体駐車場（地上4階、地下1階）

駐車台数約150台、駐輪台数約300台

公共施設：寝屋川駅前線：道路幅32メートル
（車道3m、歩道3.5m、自転車道2m）

文化ホールの基本的な性格と用途

- ・音楽が主体、演劇・舞踏その他も可
- ・舞台・設備は、2管編成（50～60人）のオーケストラが使用可能なもの
- ・市民の発表の場、市民団体・アマチュアグループの活動拠点、学校等の利用が中心
- ・日常の練習の場と設備を充実する
- ・情報発信コーナーなどの付属設備も検討

管理運営：指定管理者制度を含め検討

事業収支計画：総事業費 84億7900万円
（予定） 市負担額 42億8500万円

今後のスケジュール

平成18年度	事業計画認可
平成19年度	管理処分計画認可
平成20年度	工事着工
平成22年度	事業終了
平成23年度	ホール完成・オープン



香里園駅東地区

施行者：香里園駅東地区市街地再開発組合

面積：約2.6ヘクタール（枚方市域0.3ha）

施設建設：

- 1街区（北側）地上25階住宅棟 127戸
駐車場約103台、駐輪場約300台
- 2街区（中央）関西医科大学香里病院 200床
駐車場約72台、駐輪場約60台
- 3街区（南側）地上37階住宅棟、店舗業務棟 317戸
駐車場約236台、駐輪場約740台

公共施設：

- ・交通広場（3500㎡）：バス中心に利用
現在のバスターミナルは一般者の送迎用に
- ・木屋交野線：12m、両側に舗道整備
- ・八尾枚方線：道路拡幅
- ・香里園駅東線：16m道路を整備
- ・デッキ：再開発地区と駅を結ぶ

事業収支計画：総事業費 274億6800万円

（予定） 市負担額 約40億円

今後のスケジュール

- | | |
|---------|---------------------|
| 平成18年度 | 旧香里病院解体
権利変換計画認可 |
| 平成19年度 | 1期工事着工（2・3街区） |
| 平成22年4月 | 1期竣工 |
| 平成22年秋 | 2期着工 |
| 平成25年当初 | 2期竣工 |



再開発事業の内容については、今後も変化していくものと考えられますが、大きな枠組みは、記したとおりです。

重要なことは、箱物よりもその利用の仕方であり、市民にとっての「有益性＝市民益」です。例えば、「文化ホール」の数値的な目標を稼働率とされる予定です。いろいろな考え方があり否定するものではありませんが、市民文化度の計測というもの是非常に困難であり、稼働率に縛られてしまうと、大きな目標を見失うことになるかもしれません。

また、香里園駅東地区は、保留床を販売することにより採算を確保するものです。ですから、住宅が売れ残ってしまうと、どこかが赤字補填をする必要が出てきます。

「香里園ブランド」「駅近」というだけでなく、もっと違った街の付加価値が必要になります。例えば、「枚方市と寝屋川市の2市でのサービスセンター」「交番の設置」「関西医大香里病院とのタイアップ」など、市民の声を聞きながら、よりよい街づくりのための提案をまいります。

自主防災訓練に参加して

成美小学校で行われた校区自主防災訓練に参加いたしました。

最近では、今後発生するであろう「東南海」「南海」地震等の災害に対する意識が高くなりつつあるように感じています。中央防災会議専門調査会では、東南海・南海地震が21世紀前半に発生する確率を80～90%と発表しました。

さて、今回の自主防災では、「チェーンソー」「2連はしご」「可搬式ウィンチ」の使用を実践で教わりました。

阪神大震災時には、人命救助や移動経路確保のための工具不足が被害を大きくしたところもあります。その教訓で校区毎にそのような資機材が設置されているわけですが、大切なことは「誰もが資機材を使える」ということです。

可搬式ウィンチは、便利であることは実際に使ってみて理解できましたが、その道具を見ているだけでは使い方はわからないような代物です。

校区毎に資機材の種類や数が違ってきます。いざという時のために、ご確認を。

例えば、成美小学校区では次のようなものが用意されております。

布バケツ、スコップ、バール、ポリタンク、はしご兼用脚立、コードリール、ハンマー、投光機、携帯用ライト、拡声器、つるはし、簡易ジャッキ、折りたたみ担架、とび口、ボトルクリッパー、携帯用安全帯、かまどセット、折りたたみ鋸、チェーンソー、2連はしご、可動式ウィンチ

ランキングで見る寝屋川市

新聞紙上でアンケート調査による各自治体のランキングを見る機会があると思います。質問項目やその回答の仕方では評価が変わりますが、一つの目安として、私も関心を持っている一人です。特に寝屋川市が力を入れている「行政改革」「行政革新度」について、日本経済新聞社・日経産業消費研究所が調査をしており、その結果の推移をご報告いたします。

平成18年度	行政革新度	57位
	サービス水準	137位
平成17年度	行政革新度	90位
	サービス水準	176位
平成15年度	行政革新度	125位
	サービス水準	311位

※行政改革度・・・透明度、効率化・活性化度、住民参加度、利便度が指標。

※サービス水準・・・子育て環境、高齢者福祉、教育、公共料金等、住宅・インフラが指標。

市民サービスの維持・向上の財源確保の観点からも行政内の改革は進んできているように感じています。

行政内の改革によって財源を捻出し、市民サービスの多様化を図ろうとしていますが、その成果が増加する社会保障費に充てられて、他のサービスまで行き届いていないのが現状です。

社会保障の改革は国の権限であり、市ではどうすることもできませんが、「健康保険」「介護保険」「医療制度」「生活保護」など、地方財政の健全化のためにも、国の改革が必要だと考えております。

大利の梨

かつては米以外に麦・芋・大根・菜種・梨・みかん・筍などが、本市の土質にもあい、農家の人々の苦勞により栽培がされていました。

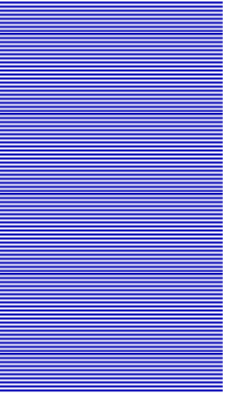
私が引越しをした大利元町の自宅付近は、一面梨畑であったと伺いました



本市の梨は、明治10年頃に東外島で「島田キンコ」という品種が初めて栽培されました。

その後「長十郎」「二十世紀」梨と優良品種に移っていった梨栽培は、日露戦争当時が最も盛んにおこなわれ、当時は、出荷組合（京阪萱島河北出荷組合）や市場もできていたそうです。生産は、大利・神田地域が中心であり、梨を包む袋には、「ありの実」（梨=無し の反対）と印刷されていました。

第二次世界大戦時には、主食糧増産のため芋畑へと変わっていき、戦後もいくらかは再興したものの、衰退の一途をたどり、畑自体が住宅用に転用されていきました。



市立西小学校の校章は、梨の花をかたどったものです。

 **BACK** 

Copyright 2002 BANDO KEIJI.,all rights reserved.